

平成28（2016）年度

当初予算の概要



川西市

も く じ

平成28（2016）年度予算の編成について	1
1. 平成28年度当初予算（案）の主な新規拡充事業	2
2. 予算の規模	4
3. 総合計画の施策体系	4
政策別主要事業	
暮らし（住む・にぎわう）	5
安全安心（安らぐ・備える・守る）	8
生きがい（育つ・学ぶ）	9
つながり（尊ぶ・関わる）	10
行政経営改革大綱（挑む）	11
公共施設等の主な更新・改修（老朽化・耐震対策等）	13
4. 一般会計予算内訳表（案）	14
5. 市税収入の状況	18
6. 地方交付税の状況	19
7. 地方債（市債）の借り入れ状況	20
8. 地方債（市債）現在高の状況	21
9. 基金（貯金）の状況	22
10. 一般会計歳出性質別経費の状況	23
11. 平成28年度 行財政改革の取組項目と効果見込額	24
12. 特別会計・企業会計	26
特別会計の概要	27
水道事業	28
下水道事業	29
病院事業	30

平成 28（2016）年度予算の編成について

わが国の経済は緩やかな回復基調にあるものの、地方によっては厳しい環境が続いていることから、国においては経済対策をさらに浸透させていくために、「一億総活躍社会」の実現に向けた取組みを進め、経済再生や地方創生を加速させるとともに、国の歳出改革を着実に推進することにより、財政健全化を実現していくこととされています。

そうした中で、本市の平成 28 年度予算は、歳入において、収入の根幹である市税収入は個人市民税や固定資産税が概ね前年度と同程度となるなど、市税全体で約 196 億円と前年度より 1 億 2 千万円の増収を見込んでおり、地方消費税交付金の増収や地方交付税及び臨時財政対策債の発行による財源確保などを合わせると、市の一般財源総額は前年度より増加する見込みとなっています。

一方、歳出では、第 5 次総合計画前期基本計画に位置づけた事業の推進と併せて、人口減少・超高齢社会に対応したまちづくりを進めるために策定する「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」に掲げた取組みを、速やかにかつ効果的に展開していくための予算として最適配分を行いました。

主な施策として、雇用や起業を促進するための環境づくりを進めるとともに、市民の皆さんの健幸づくりを推進する施策を拡充するほか、子育てを支援する施策や教育環境についても充実を図ります。

また、地域分権制度に基づくコミュニティを中心とした地域づくり活動を積極的に支援するとともに、地域資源や観光資源を活かした魅力あるまちの創造や発信を展開することとしています。

国内経済の先行きは依然として不透明感が拭えない情勢となっており、市財政を取り巻く環境は厳しい状況が続きますが、市としましては、昨年策定しました中期財政運営プランに基づき、財政健全化の早期実現に向けた取組みをさらに推進するとともに、市民の皆さんの幸せと活気にあふれた地域づくりを進める所存でありますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

川西市長 大 塩 民 生

1.平成28年度当初予算(案)の主な新規拡充事業

☆は「総合戦略案(詳細は次ページ下欄参照)」記載事業

元気な都市再生プロジェクト

・キセラ川西都市基盤整備	21億7,639万円(※特別会計予算へ計上)
・キセラ川西内の低炭素型複合施設の整備	10億6,335万円
・新名神高速道路周辺整備(道路、安全灯等)	4億2,691万円
☆かわにし魅力創造・発信拠点整備	500万円
☆在宅就業の環境整備・女性の起業支援	250万円
☆旧加茂小学校・旧川西高校跡地活用検討	500万円

キセラ川西では、整地工事及び「せせらぎ遊歩道」や都市計画道路豊川橋山手線等の都市基盤整備を進めるとともに、地区内での複合施設(文化会館、公民館、福祉施設等)の建設を進めます。

新名神高速道路周辺では、H28年度末の高速道路の開通に合わせて矢問畦野線の整備や安全灯等の整備など周辺道路の環境整備・安全対策を実施するとともに、新たな市の玄関口となる(仮称)川西インターチェンジ周辺での本市の魅力の創造・発信の拠点となる施設の整備に向けて、民間活力導入可能性調査を実施します。

子育て中の女性等在宅就業希望者に対して、在宅就業の機会を促進するとともに、起業を考えている女性に対して、起業から起業後のフォローまでを含んだ包括的な支援を行います。

旧加茂小学校及び旧川西高校跡地の有効活用を検討します。

豊かな水と緑共生プロジェクト

☆キセラ川西内中央公園の整備	3億 269万円(※特別会計予算へ計上)
☆公園灯のLED化	6,500万円

キセラ川西内において、市民ワークショップ等を通じて策定した整備構想に基づき、公園整備を行います。また、環境への配慮から、CO2排出量の低減を図るために、公園灯のLED化を行います。

こころ豊かな子ども育成プロジェクト

☆(仮称)きんたくんエンゼル給付金制度の創設	716万円
☆多子世帯、ひとり親世帯の幼稚園・保育所の保育料軽減	230万円
☆小学校外国語活動での地域人材活用の拡充	158万円
☆小中学校、幼稚園、特別支援学校の空調設備の整備	3,089万円
☆中学校給食のモデル校での実施に向けた準備	240万円

出産への支援として、新生児名義の金融機関口座を開設する場合に、給付金を支給する「(仮称)きんたくんエンゼル給付金制度」を創設します。

幼児期の支援として、年収が一定額未満の多子世帯・ひとり親世帯に対して、幼稚園・保育所の保育料を軽減します。

小学校では、市立小学校の外国語活動で、英語に長けた地域人材による授業の時間を拡充します。

小中学校、幼稚園及び特別支援学校での空調設備の整備について、準備を進めていきます。

中学校給食について、モデル校での実施に向けて給食施設の基本設計を行います。

いきいき健康・長寿プロジェクト

☆健幸マイレージの参加人数の拡充	4,720万円
☆健幸測定会の充実(健康測定機器の整備)	60万円
☆健康遊具等の設置(公園の改良)	1億992万円

健幸マイレージにより多くの方が参加できるよう実施体制を拡充します。また、健幸マイレージ参加者を対象としている健幸測定会について、より多くの市民が参加できるよう新たな測定器具の導入などにより充実を図ります。

公園内の設備の改良・更新にあたっては、健康遊具等の設置を進め、市民の健康づくりを推進します。

川西の魅力発見・発信プロジェクト

☆「あんばい ええまち かわにしプロジェクト」の展開	2,009万円
☆「このまちで幸せになろうプロジェクト」の実施に向けた検討	56万円
☆公共Wi-Fi環境整備の可能性検討	300万円
☆地域づくり一括交付金による地域の先駆的事業の支援	5,246万円
☆コミュニティ活動拠点の整備に対する補助制度の創設	200万円

都市のイメージアップと定住地としてのまちの魅力をPRするため、「あんばい ええまち かわにしプロジェクト」を積極的に展開していきます。

若者の出会いから結婚までを総合的に支援する「このまちで幸せになろうプロジェクト」の実施に向け、効果的な支援の手法を検討します。

また、魅力の発信や交流人口の増加等を目的として、公共Wi-Fi環境整備の可能性を検討します。

地域分権による地域づくりを進めるために、コミュニティ組織の先駆的な事業に対して地域づくり一括交付金に加算して交付するとともに、コミュニティ活動の拠点整備に対する補助制度を創設します。

「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」の推進

平成27年度に本市では、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って、「人口減少・超高齢社会に着実に対応し、持続可能なまちづくりを実現する」ために、本市の独自の課題とその解決策を整理した「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」の策定を進めています。

「戦略」の方向に沿い、かつ早期に実施可能な事業については、平成28年度から予算化し、実施していくこととしています。各プロジェクトのうち、☆の事業は、総合戦略(案)に記載されている事業です。

P2, 3に掲げた事業以外にも「良好な住環境の維持創出」「結婚・出産・子育て支援」「地域のきずなを深める」「新たな雇用と街のにぎわいの創出」など戦略(案)の4つの基本目標に沿った事業を実施していきます。(※5ページ以降の「政策別主要事業」の該当事業に「戦略」マークを付記)

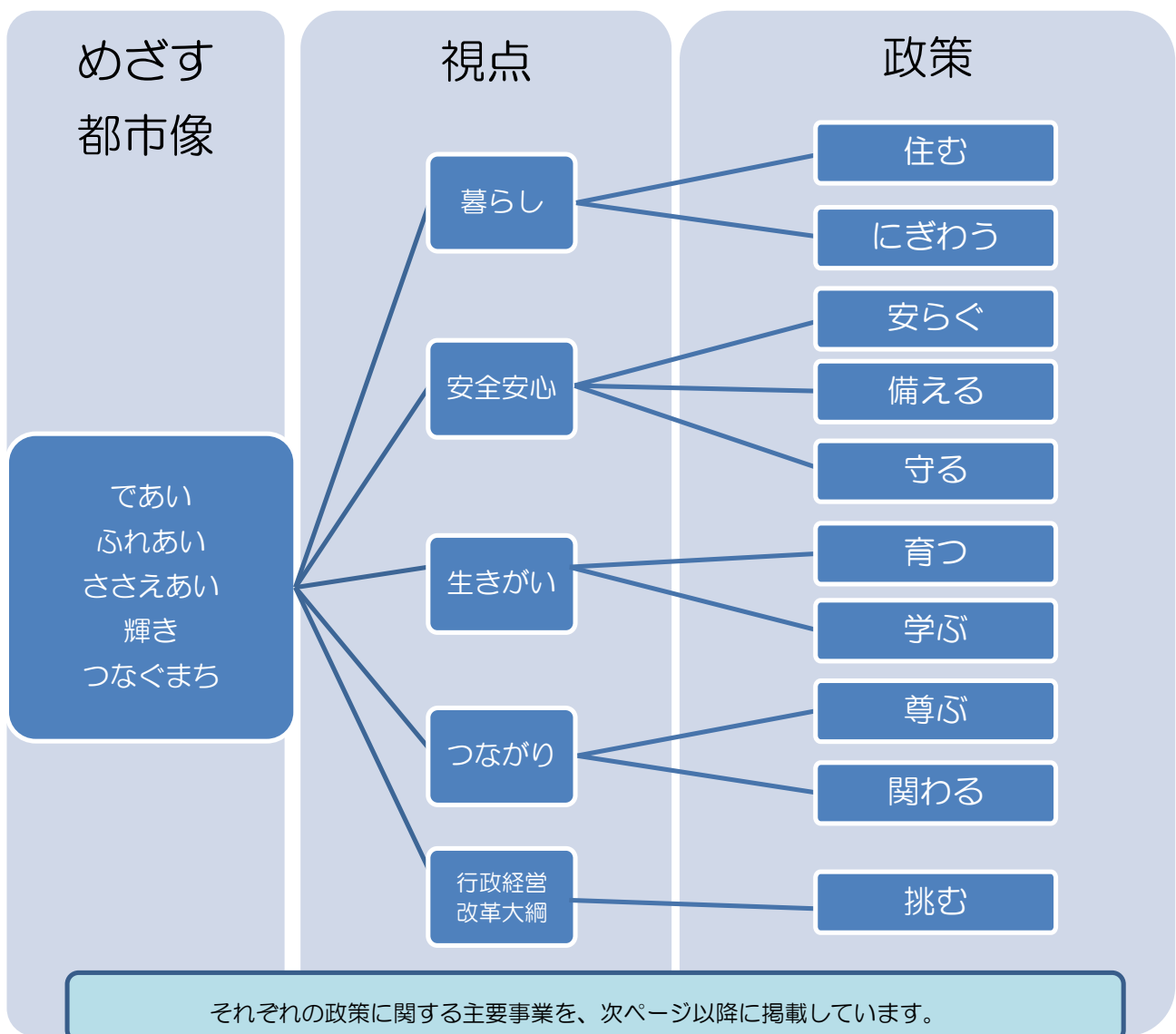


2. 予算の規模

(単位：千円、%)

	平成28年度(A)	平成27年度(B)	差引(A)-(B)	増減率
一般会計	53,477,000	55,111,000	▲ 1,634,000	▲ 3.0
特別会計(6会計)	39,443,458	42,473,551	▲ 3,030,093	▲ 7.1
企業会計(3会計)	18,168,185	17,653,303	514,882	2.9
合計	111,088,643	115,237,854	▲ 4,149,211	▲ 3.6

3. 総合計画の施策体系



政策別主要事業



暮らし（住む・にぎわう）

キセラ川西の都市基盤整備

21億7,639万円 担当：地区整備課

細事業 公共施設整備事業・補償移転事業
細事業予算額 21億7,639万円
予算書ページ 413

キセラ川西内において、引き続き、物件移転補償を進めるとともに、整地工事及び「せせらぎ遊歩道」や都市計画道路豊川橋山手線等の都市基盤整備を進めます。

※上記予算額は特別会計予算へ計上

戦略

キセラ川西内中央公園の整備

3億269万円 担当：地区整備課

細事業 中央公園整備事業
細事業予算額 3億269万円
予算書ページ 413

キセラ川西内において、市民ワークショップ等を通じて策定した整備構想に基づき、公園整備を行います。

※上記予算額は特別会計予算へ計上

花屋敷団地の建替え

1億564万円 担当：住宅政策室

細事業 花屋敷団地建替事業
細事業予算額 1億564万円
予算書ページ 205

花屋敷団地・絹延団地の老朽化に対応するため、建替えに伴う基本設計・実施設計等を行います。

市道44号の交差点等改良

9,518万円 担当：道路整備課

細事業 市道44号道路改良事業
細事業予算額 9,518万円
予算書ページ 187

市道44号の改良および市道44号と43号の交差点の改良に伴い用地購入、改良工事を実施します。

都市計画道路矢問畦野線の整備

2億2,657万円 担当：道路整備課

細事業 矢問畦野線整備事業
細事業予算額 2億2,657万円
予算書ページ 193

新名神高速道路及び県道川西インター線整備に合わせ、円滑な交通を確保するため、都市計画道路矢問畦野線を整備します。

市道3号の交差点改良

4,000万円 担当：道路整備課

細事業 市道3号道路改良事業
細事業予算額 4,000万円
予算書ページ 187

中央町・栄町地内の市道3号について、右折レーンの設置や歩道の拡幅等改良工事を実施します。

新規

新名神高速道路開通に伴う 関連道路への安全灯・標識等の設置

1,800万円 担当：道路整備課

細事業 新名神周辺対策事業
細事業予算額 2,631万円
予算書ページ 193

新名神高速道路整備に伴う関連道路に安全灯・標識（IC方面を表示）を設置します。

戦略

南部地域の公園整備

5,099万円 担当：公園緑地課

細事業 市内全般公園改良事業
細事業予算額 4億1,281万円
予算書ページ 197

市南部の空港周辺地域の既設公園において、老朽化した遊具の更新等を実施するとともに、防災・健康機能の付加や公園灯のLED化を年次的に行います。

新規

戦略

新規

公園灯のLED化

6,500万円 担当：公園緑地課

細事業	公園維持管理事業
細事業予算額	2億3,721万円
予算書ページ	197

CO2排出量の低減と電気料金の節減を図るために、市が管理している公園灯のLED化を行います。

戦略

黒川ダリヤ園の再整備

570万円 担当：公園緑地課

細事業	ダリヤ育成事業
細事業予算額	1,209万円
予算書ページ	179

黒川ダリヤ園のリニューアルに向け、事業予定地の測量を行います。

戦略

新規

住宅の耐震改修促進補助制度の拡充

1,520万円 担当：建築指導課

細事業	建築指導事業
細事業予算額	2,875万円
予算書ページ	205

耐震基準を満たさない住宅の建替えに対する補助を新たに創設するとともに、簡易耐震診断の手数料の無料化など、耐震改修促進補助制度を拡充します。

戦略

新規

特産物商標登録補助制度の創設

52万円 担当：産業振興課

細事業	農業振興推進事業
細事業予算額	2,428万円
予算書ページ	169

川西のいちじくのお名前「朝採りの恵み」を商標登録し、市特産物のブランド力を高めていきます。

戦略

新規

五つ星ひょうご選定品への補助制度の創設

50万円 担当：産業振興課

細事業	商工振興事業
細事業予算額	2,534万円
予算書ページ	173

兵庫県のブランド発信制度「五つ星ひょうご」に選定された事業者に対する補助制度を創設します。

戦略

新規

女性の起業の支援

100万円 担当：産業振興課

細事業	商工振興事業
細事業予算額	2,534万円
予算書ページ	173

女性の起業に際し、起業前から起業後のフォローまでを含んだ包括的な支援を行います。

戦略

新規

在宅就業のための環境整備

150万円 担当：産業振興課

細事業	労働者支援事業
細事業予算額	1,348万円
予算書ページ	165

仕事を受注したい個人と仕事を依頼したい事業者とを、インターネットを活用して結びつけることで、在宅での就業の機会を促進します。

戦略

新規

若者に対する就労サポート

500万円 担当：産業振興課

細事業	労働者支援事業
細事業予算額	1,348万円
予算書ページ	165

コーディネーターの支援により、就学体験活動を通して、若者の就労サポートを行います。



事業名	細事業名	H28 予算額	担当所管 室・課名	概要	所要 経費	予算書 掲載頁
公共交通 支援事業	戦略 公共交通計画 推進事業	861万円	都市政策室	(新規) バス利用者の利便改善のため、バス 事業者のバスロケーションシステム 導入に対し、助成を行います。	349万円	179
ふるさと 団地再生 事業	戦略 ふるさと団地 再生事業	3,043万円	住宅政策室	子育て世帯の流入や定住を促進する ため「親元近居助成制度」を継続し ます。 また、空家の適切な管理及び特定空 家等への対処を示した空家等対策基 本方針を策定します。	2,830万円	203
橋りょう 維持補修 事業	橋りょう維持 補修事業	1億3,900万円	道路管理課	「道路橋長寿命化修繕計画」に基づ き、全204橋の調査及び最明寺川 大橋、清和台陸橋の修繕工事を実施 します。	1億3,700万円	189
道路改良 事業	市道55号 道路改良事業	900万円	道路整備課	山原地内の退避所設置のため、改良 工事を行います。	900万円	187
道路改良 事業	市道12号 道路改良事業	740万円	道路整備課	見野2丁目地内の道路拡幅のため、 詳細設計を行います。	740万円	187
道路改良 事業	市道328号 道路改良事業	5,750万円	道路整備課	黒川地内の道路拡幅のため、橋りょう 改修等の改良工事を行います。	5,750万円	187
街路新設 改良事業	豊川橋山手線 新設改良事業	1億270万円	道路整備課	都市計画道路豊川橋山手線のキセウ 川西区域外の区間（美園町・絹延町 地内）において、物件調査、改良工 事及び能勢電鉄踏切改良のための設 計に必要な経費を負担します。	1億270万円	193
新名神周辺 対策事業	石道地内 工事用道路 市道化事業	1億4,275万円	道路整備課	新名神高速工事用道路を市道化しま す。橋りょうの工事経費をH28～ 29の2か年で負担するとともに、歩 道整備を行います。	1億4,275万円	193
公園改良 事業	戦略 市内全般公園 改良事業	4億1,281万円	公園緑地課	安全安心に公園を利用できるように するため、「公園施設長寿命化計 画」に基づき、老朽化の進む遊具等 の撤去・更新を進めます。	5,000万円	197
農業用施設 改良事業	農業用施設 改良事業	4,512万円	産業振興課	猪名川下流にある加茂井堰の放流警 報設備を更新します。	3,885万円	169
農業用施設 等災害復旧 事業	農業用施設等 災害復旧事業	2千円	産業振興課	(新規) 農業用施設等の災害復旧に係る市独 自の補助制度を創設します。 (予算は必要時予備費等対応)	1千円	253



安全安心（安らぐ・備える・守る）

戦略

健幸マイレージの拡充

4,720万円 担当：健幸政策室

細事業 健康づくり推進事業
細事業予算額 8,039万円
予算書ページ 145

健幸マイレージにより多くの方が参加できるよう体制の拡充を図ります。

戦略

健幸測定会の充実

60万円 担当：健幸政策室

細事業 健康づくり推進事業
細事業予算額 8,039万円
予算書ページ 145

健幸マイレージ参加者を対象としている健幸測定会について、より多くの市民が参加できるよう新たな測定器具の導入などにより充実を図ります。

戦略

障がい者相談支援事業所の増設

1,582万円 担当：障害福祉課

細事業 障害者地域生活支援事業
細事業予算額 5億247万円
予算書ページ 125

障がい者の相談支援体制の充実を図るため、相談支援事業所を1箇所増やします。

戦略

小学校通学路などへの防犯カメラ設置の検討

13万円 担当：生活相談課

細事業 生活安全事業
細事業予算額 440万円
予算書ページ 91

子どもの安全確保を図るため、地域防犯活動の状況等を踏まえつつ、関係機関と連携しながら、防犯カメラ設置の検討を進めます。

新規

事業名	細事業名	H28 予算額	担当所管 室・課名	概要	所要 経費	予算書 掲載頁
臨時福祉 給付金 給付事業	臨時福祉給付金 給付事業	1億9,237万円	福祉政策課	低所得者の生活を支援するため、臨時福祉給付金を支給します。	1億9,237万円	119
健康診査 事業	健康診査事業	2億6,050万円	健幸政策室	(新規) CTコロノグラフィーによる検査を導入し、大腸がん検診の充実を図るとともに、がん検診受診者で結果が「要精密検査」となった方のうち、精密検査未受診の方への受診勧奨を行います。	208万円	147
環境監視 事業	大気・水質・ 騒音等監視事業	601万円	環境創造課	路上喫煙及びたばこのポイ捨て防止に係る啓発活動を積極的に展開します。	65万円	157
分別収集 事業	分別収集事業	6億7,619万円	美化推進課	(新規) ごみステーションの美化のため、カラス除けネットやペットボトル用スタンドネットを、希望者に対して無償配布します。	180万円	161
消防施設 維持管理 事業	消防庁舎・施設 維持管理 整備事業	8,645万円	消防総務課	新名神高速道路開通に向けて、救急隊の増隊を行うために、清和台出張所を改修します。	3,240万円	211
消防活動 事業	消防設備 維持管理事業	1億958万円	消防課	救急隊増隊のため新たに救急車を購入し、清和台出張所に配備します。	4,584万円	209

生きがい（育つ・学ぶ）

戦略

不育症に対する医療費助成

150万円 担当：健幸政策室

細事業 母子保健推進事業
細事業予算額 1億1,178万円
予算書ページ 145

不育症の方を対象として、検査や治療に係る医療費の一部を助成します。

新規

戦略

小児慢性特定疾患助成

120万円 担当：医療助成・年金課

細事業 乳幼児等医療扶助事業
こども医療扶助事業
細事業予算額 3億4,014万円
予算書ページ 127

小児慢性特定疾患児童に係る医療費の本人負担の一部を助成します。

新規

戦略

（仮称）きんたくんエンゼル 給付金制度の創設

716万円 担当：子育て・家庭支援課

細事業 子育て支援事業
細事業予算額 3,133万円
予算書ページ 135

新生児名義の金融機関口座を開設する場合に、給付金を支給する（仮称）きんたくんエンゼル給付金制度を創設します。

新規

戦略

東谷中学校区 市立認定こども園の整備

1億496万円 担当：こども・若者政策課

細事業 市立幼稚園・保育所一体化施設整備事業
細事業予算額 1億496万円
予算書ページ 139

牧の台幼稚園と緑保育所の一体化施設の整備に向け、牧の台幼稚園の仮園舎への移転準備及び認定こども園の工事を実施します。

新規

戦略

地域人材による英語教育（小学校）

158万円 担当：学校指導課

細事業 小学校外国語活動推進事業
細事業予算額 649万円
予算書ページ 227

市立小学校の外国語活動において、外国語指導助手に加え、新たに地域人材を活用することにより、一層質の高い授業の展開を図ります。

新規

戦略

スクールソーシャルワーカーの配置

128万円 担当：生徒指導支援課

細事業 生徒指導支援事業
細事業予算額 488万円
予算書ページ 223

生徒指導上の諸課題に対し、効果的な対応を図るため、スクールソーシャルワーカーを配置します。

新規

戦略

小中学校及び幼稚園等の空調設備整備

3,089万円 担当：公共施設マネジメント室

細事業 小中学校及び幼稚園等
空調設備整備PFI推進事業
細事業予算額 3,089万円
予算書ページ 243

小中学校及び幼稚園等における空調整備に向けてPFIなど事業手法を十分に検討したうえで実施します。

新規

戦略

中学校給食のモデル校実施準備

240万円 担当：学務課

細事業 中学校給食実施準備事業
細事業予算額 240万円
予算書ページ 235

中学校給食について、モデル校での実施に向けて給食施設の基本設計を行います。

新規

事業名	細事業名	H28 予算額	担当所管 室・課名	概要	所要 経費	予算書 掲載頁
保育所 整備事業	戦略 地域型保育事業 施設整備事業	1,650万円	こども・若者 政策課	地域型保育施設を整備・運営する事業者に対し、施設整備に要する経費の補助を行います。	1,650万円	139
認定 こども園 整備事業	戦略 認定こども園 整備事業	2億1,687万円	こども・若者 政策課	緑台中学校区に民間幼保連携型認定こども園を整備・運営する事業者に対し、施設整備に要する経費の補助を行います。	2億1,687万円	139
保育所運営 事業	戦略 市立保育所運営 事業	4億2,324万円	こども育成課	年収が一定額未満の多子世帯・ひとり親世帯に対して、幼稚園・保育所の保育料を軽減します。 (年間軽減額は計230万円。)また、保育所に不審者等への対策として防犯カメラを設置します。	424万円	137
ひとり親 家庭支援 事業	児童扶養手当 支給事業	4億9,890万円	子育て・家庭 支援課	平成28年8月分から、児童扶養手当の第2子以降の加算額を所得に応じて増額支給します。	1,108万円	135
小学校図書 整備事業	戦略 小学校図書 整備事業	1,000万円	教育総務課	小中学校の学校図書館の整備充実を図ります。	1,000万円	227
中学校図書 整備事業	戦略 中学校図書 整備事業	579万円	教育総務課		579万円	233
小学校教科 書・副読本 整備事業	小学校教科書・ 副読本整備事業	297万円	学校指導課	(新規) 小中学校の社会科副読本について、より充実した内容への改定に向けた準備を進めます。	35万円	227
中学校教科 書・副読本 整備事業	中学校教科書・ 副読本整備事業	1,102万円	学校指導課		30万円	233
小学校体験 活動事業	里山体験 学習事業	758万円	生徒指導支援課	(新規) 黒川地域における里山体験活動サポーターを養成します。	6万円	227
文化財事業	文化財保存啓発 事業	5億5,390万円	社会教育・ 文化財課	加茂遺跡の保存のため、史跡指定地内の市土地開発公用地や民有地を取得します。	5億4,532万円	247
文化財事業	戦略 文化財施設 管理事業	3,907万円	社会教育・ 文化財課	郷土館の隣接地を取得するとともに、郷土館全体の有効活用を検討します。 (※用地は特別会計で取得)	364万円	247
公民館 維持管理 事業	公民館 維持管理事業	1,415万円	中央公民館	黒川公民館建設のための実施設計を行います。	930万円	249

つながり（尊ぶ・関わる）

戦略

新規

（仮称）男女共同参画カレッジの開講

100万円 担当：人権推進室

細事業 男女共同参画推進事業
細事業予算額 436万円
予算書ページ 89

男女共同参画社会の実現に向け、男性・女性の生き方や働き方などを体系的に学ぶ機会を提供する（仮称）男女共同参画カレッジを開講します。

自治会館整備事業補助制度の拡充

730万円 担当：参画協働室

細事業 自治会支援事業
細事業予算額 2,003万円
予算書ページ 89

自治会活動の活性化を支援するため、自治会館の整備事業補助制度を拡充します。

事業名	細事業名	H28 予算額	担当所管 室・課名	概要	所要 経費	予算書 掲載頁
自治会 支援事業	自治会支援 事業	2,003万円	参画協働室	地域の不動産事業者等と連携し、自治会への加入促進を図ります。	13万円	89

行政経営改革大綱（挑む）

戦略

川西IC周辺における 川西の魅力創造・発信拠点の整備

500万円 担当：経営改革課

細事業 地方創生戦略推進事業
細事業予算額 909万円
予算書ページ 75

かわにし魅力創造・発信拠点整備にかかる民間活力導入可能性調査を実施します。

新規

戦略

「このまちで幸せになろう プロジェクト」の展開

56万円 担当：経営改革課

細事業 地方創生戦略推進事業
細事業予算額 909万円
予算書ページ 75

川西市における若者の出会いから結婚までを総合的に支援するため、「このまちで幸せになろうプロジェクト」の実施に向けた検討委員会を立ち上げ、民間事業者等とともに効果的な支援の手法を検討します。

新規

戦略

コミュニティ活動拠点整備 補助制度の創設

200万円 担当：参画協働室

細事業 地域分権推進事業
細事業予算額 6,497万円
予算書ページ 75

コミュニティ活動の活性化を図るため、拠点整備に対する補助制度を創設します。

新規

戦略

旧加茂小学校・旧川西高校跡地の活用

500万円 担当：経営改革課

細事業 政策企画・立案事業
細事業予算額 914万円
予算書ページ 73

旧加茂小学校及び旧川西高校跡地の有効活用を検討します。

低炭素型複合施設の建設

10億6,335万円 担当：公共施設マネジメント室

細事業 キセラ川西内複合施設整備事業
細事業予算額 10億8,054万円
予算書ページ 83

P F I手法による低炭素型複合施設（文化会館、公民館、福祉施設等）の建設を進めます。

各種証明のコンビニ交付の実施

1,577万円 担当：市民課

細事業 住民基本台帳及び印鑑登録事業
細事業予算額 1億1,974万円
予算書ページ 105

市民の利便性向上と個人番号カードの普及促進を図るため、コンビニエンスストアで各種証明書を交付します。

新規

清掃事務所の整備

3,060万円 担当：公共施設マネジメント室

細事業 清掃事務所整備事業
細事業予算額 3,060万円
予算書ページ 159

旧北部処理センターを活用した清掃事務所及びごみ収集車の車庫の整備に向けて、実施設計を行います。

市民体育館の建替え

10億2,621万円 担当：公共施設マネジメント室

細事業 市民体育館・運動場整備PFI推進事業
細事業予算額 10億2,621万円
予算書ページ 93

P F I手法による市民体育館の建替え及び市民運動場の整備を完了し、新体育館の使用開始後、旧体育館の解体及び駐車場の整備を行います。

事業名	細事業名	H28 予算額	担当所管 室・課名	概要	所要 経費	予算書 掲載頁
参画と協働 の まちづくり 推進事業	戦略 地域分権推進 事業	6,497万円	参画協働室	地域分権による地域づくりを進める コミュニティ組織の活性化に向け、 一括交付金を交付します。先駆的な 事業については加算を行います。	5,246万円	75
魅力創造 事業	戦略 魅力創造事業	1億9,328万円	かわにし 魅力推進室	都市のイメージアップと定住地とし ての魅力をPRするために、引き続 ぎ、「あんばいええまちかわにし」 プロジェクトを展開します。	2,009万円	75
政策企画 ・立案 事業	政策企画 ・立案事業	914万円	経営改革課	市民憲章について、「(仮称)市民 の幸せ憲章」として見直しを進めま す。	51万円	73
地方創生 戦略推進 事業	戦略 地方創生 戦略推進事業	909万円	経営改革課	(新規) 魅力の発信や交流人口の増加等を目 的とした公共Wi-Fi環境整備の可 能性について、検討します。	300万円	75
徴収及び 収納事業	徴収及び 収納事業	1億1,081万円	市税収納課	(新規) 市税のクレジット収納の実施など納 税環境の整備を図るとともに、口座 振替推進キャンペーンを展開し、納 期内納付の向上に取り組みます。	45万円	101
選挙啓発 事業	選挙啓発事業	77万円	選挙管理 委員会 事務局	(新規) 公職選挙法の改正に伴い、18歳から 20歳の新有権者を対象に投票への周 知啓発を行います。	35万円	107

※各事業の予算額、所要経費には、正職・再任用人件費は含んでいません。



公共施設等の主な更新、改修（老朽化・耐震対策等）

教育施設

★小中学校・幼稚園の
空調設備整備

実施準備 3,089万円



★学校施設屋内運動場等の
天井落下防止対策（小学校8校）

設計 1,000万円



★東谷中学校地区
市立認定こども園の整備

工事 1億496万円



公民館

★黒川公民館の建設

設計 930万円



市営住宅

★市営住宅花屋敷団地の建替え

設計等 1億564万円



体育館

★市民体育館の建替え

工事 10億2,621万円



複合施設

★キセラ川西内複合施設の整備

工事 10億6,335万円



長寿命化

★橋りょう長寿命化
(点検・改修工事等)

工事 最明寺川橋・清和台陸橋
点検 全204橋
1億3,700万円

★公園施設長寿命化等改良
(公園灯LED化・遊具の更新等)
1億6,600万円



その他

★清掃事務所整備
設計 3,060万円

★加茂井堰放流警報設備
更新 3,885万円

★北消防署清和台出張所改修
設計・工事 3,240万円




※ここでは、P5～12の事業うち公共施設の主な更新・改良事業をまとめて再掲しています。
※各事業の予算額には、正職・再任用人件費は含んでいません。

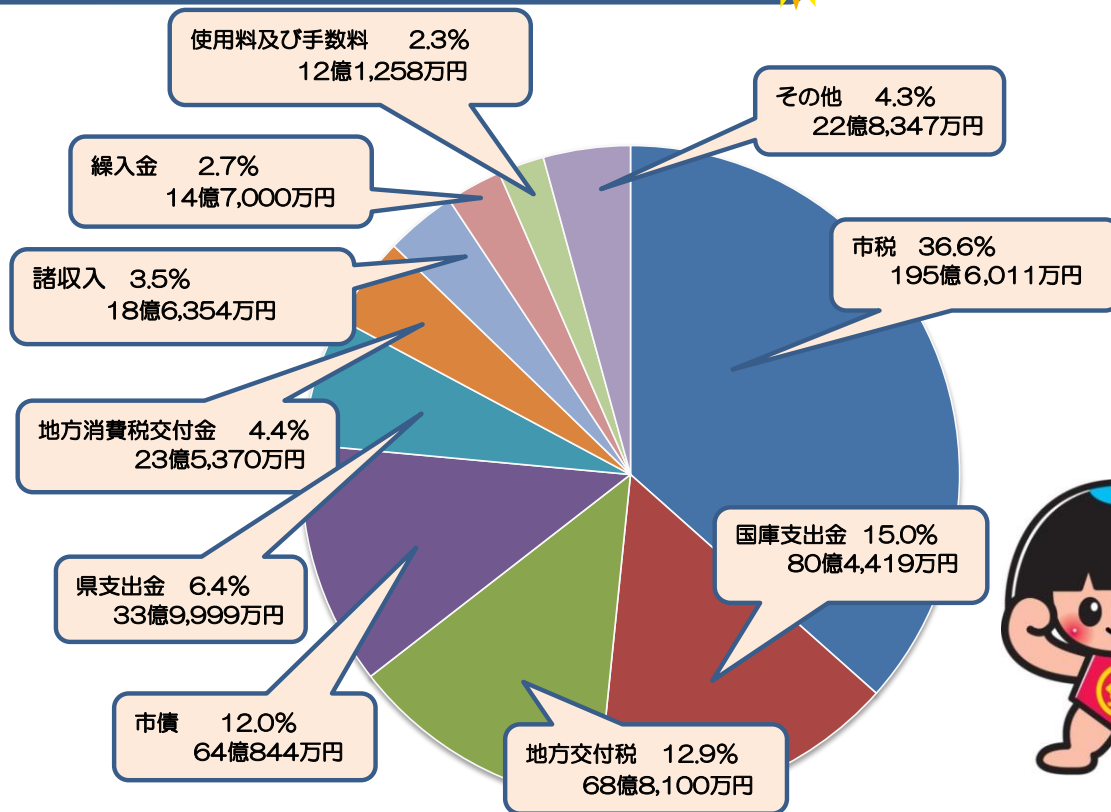
4.一般会計予算内訳表(案)

歳入予算の内訳

(単位：千円、%)

項 目	当初予算額		比較		
	28年度(A)	27年度(B)	増減額(A)-(B)	対前年度比	
01 市税	19,560,108	19,438,938	121,170	100.6	
02 地方譲与税	746,900	731,200	15,700	102.1	
03 利子割交付金	67,000	60,700	6,300	110.4	
04 配当割交付金	274,900	163,200	111,700	168.4	
05 株式等譲渡 所得割交付金	173,700	72,600	101,100	239.3	
06 地方消費税交付金	2,353,700	1,872,000	481,700	125.7	
07 ゴルフ場 利用税交付金	123,600	125,000	△ 1,400	98.9	
08 自動車取得税 交付金	66,200	75,100	△ 8,900	88.1	
09 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	18,000	18,475	△ 475	97.4	
10 地方特例交付金	122,700	124,700	△ 2,000	98.4	
11 地方交付税	6,881,000	7,058,000	△ 177,000	97.5	
12 交通安全対策 特別交付金	24,283	25,486	△ 1,203	95.3	
13 分担金及び負担金	491,793	522,230	△ 30,437	94.2	
14 使用料及び手数料	1,212,576	1,196,261	16,315	101.4	
15 国庫支出金	8,044,187	8,119,160	△ 74,973	99.1	
16 県支出金	3,399,986	2,954,847	445,139	115.1	
17 財産収入	54,385	150,578	△ 96,193	36.1	
18 寄附金	120,003	4	119,999	3000075.0	
19 繰入金	1,470,000	1,548,000	△ 78,000	95.0	
20 繰越金	1	1	0	100.0	
21 諸収入	1,863,538	1,524,320	339,218	122.3	
22 市債	6,408,440	9,330,200	△ 2,921,760	68.7	
	*借換債を除く場合	5,577,900	8,221,900	△ 2,644,000	67.8
合 計	53,477,000	55,111,000	△ 1,634,000	97.0	
	*借換債を除く場合	52,646,460	54,002,700	△ 1,356,240	97.5

歳入 総額 534億7,700万円 



歳入においては、市税や地方消費税交付金などの一般財源が増加しています。一方で、地方の財源不足を補てんする地方交付税は減少しています。また、歳出側で投資的経費が減少していることから、その財源となる市債の額が減少しています。

歳入予算の主な増減項目

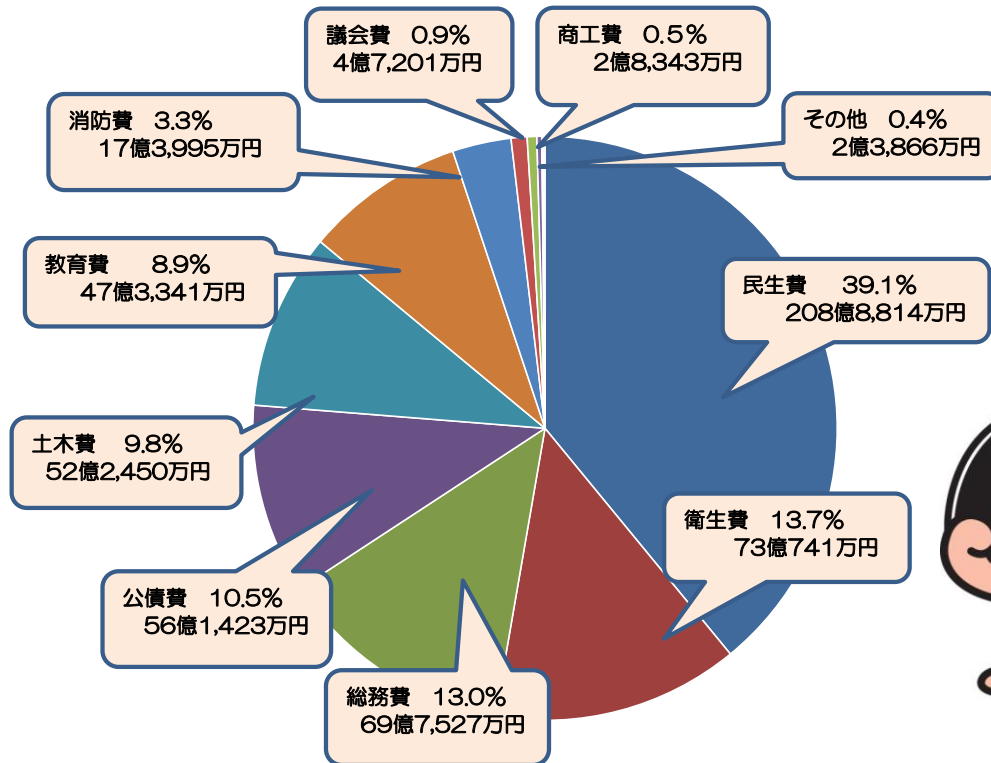
市税	増	法人市民税（+0.5億円）、軽自動車税（+0.2億円）、市たばこ税（+0.3億円）
国庫支出金	増	市民体育館整備補助金（+1.7億円）、キセラ川西内複合施設整備補助金（+3.7億円）、生活保護費補助金（+2.1億円）
	減	子育て世帯臨時給付金（△0.6億円）、社会資本整備総合交付金（△2.8億円）、学校施設環境改善交付金（△6.1億円）
県支出金	増	地域介護拠点整備事業費補助金（+1.6億円）、認定こども園整備補助金（+1.8億円）、参議院議員選挙委託金（+0.5億円）
	減	国勢調査委託金（△0.6億円）、県議会議員選挙委託金（△0.4億円）
寄附金	増	ふるさとづくり寄付金（+1.2億円）
繰入金	減	繰入金全体で、対前年度比較で7,800万円減の14億7,000万円を計上
諸収入	増	市立川西病院貸付金返還金（+5.3億円）、空港周辺環境整備助成金（+0.5億円）
	減	中央公園支障物件補償金（△2.4億円）
市債	増	市民体育館整備（+7.5億円）、キセラ川西内複合施設整備（+6.4億円）、加茂遺跡保存事業（+5.2億円）
	減	花屋敷団地建替え（△5.4億円）、道路安全灯LED化（△4.2億円）、消防本部・防災施設整備（△20.2億円）、学校耐震対策（△11.7億円）、借換債（△2.8億円）、臨時財政対策債（△2億円）

歳出予算の内訳

(単位：千円，%)

項 目	当初予算額		比較		
	28年度(A)	27年度(B)	増減額(A)-(B)	対前年度比	
01 議会費	議会の活動・運営に要する経費や議員の報酬などです。	472,006	516,060	△ 44,054	91.5
02 総務費	庁舎や市有財産の維持管理、企画調整、市税の賦課徴収、戸籍住民台帳、選挙、文化振興などにかかる経費です。	6,975,272	5,915,866	1,059,406	117.9
03 民生費	高齢者・障がい者などの福祉の充実や子育て支援、生活保護などにかかる経費です。	20,888,137	19,645,405	1,242,732	106.3
04 衛生費	市民の健康の保持増進、生活環境の改善、医療、公衆衛生、及びごみなどの一般廃棄物の収集・処理等に係る経費です。	7,307,407	6,652,310	655,097	109.8
05 労働費	労働者の福祉向上や就労支援などにかかる経費です。	44,557	40,213	4,344	110.8
06 農林業費	農林業の振興などにかかる経費です。	144,099	106,204	37,895	135.7
07 商工費	商工業の振興と、中小企業の支援、観光振興などにかかる経費です。	283,429	277,737	5,692	102.0
08 土木費	道路・橋りょう・公園・住宅などのまちづくりの基盤整備と管理、交通安全対策などにかかる経費です。	5,224,504	7,060,554	△ 1,836,050	74.0
09 消防費	火災、風水害、地震等の災害から市民の生命、身体及び財産を守るための経費です。	1,739,952	3,622,522	△ 1,882,570	48.0
10 教育費	学校教育、社会教育などの教育行政にかかる経費です。	4,733,409	5,974,716	△ 1,241,307	79.2
11 災害復旧費	大雨、台風、地震などの災害により被災した施設の復旧にかかる経費です。	3	2	1	150.0
12 公債費	事業を行うために国や金融機関などから借り入れた市債の返済に係る経費です。	5,614,225	5,249,411	364,814	106.9
	*借換債を除く場合	4,783,685	4,141,111	642,574	115.5
13 予備費	緊急に必要とされる支出のための経費です。	50,000	50,000	0	100.0
合 計		53,477,000	55,111,000	△ 1,634,000	97.0
	*借換債を除く場合	52,646,460	54,002,700	△ 1,356,240	97.5

歳出 総額 534億7,700万円

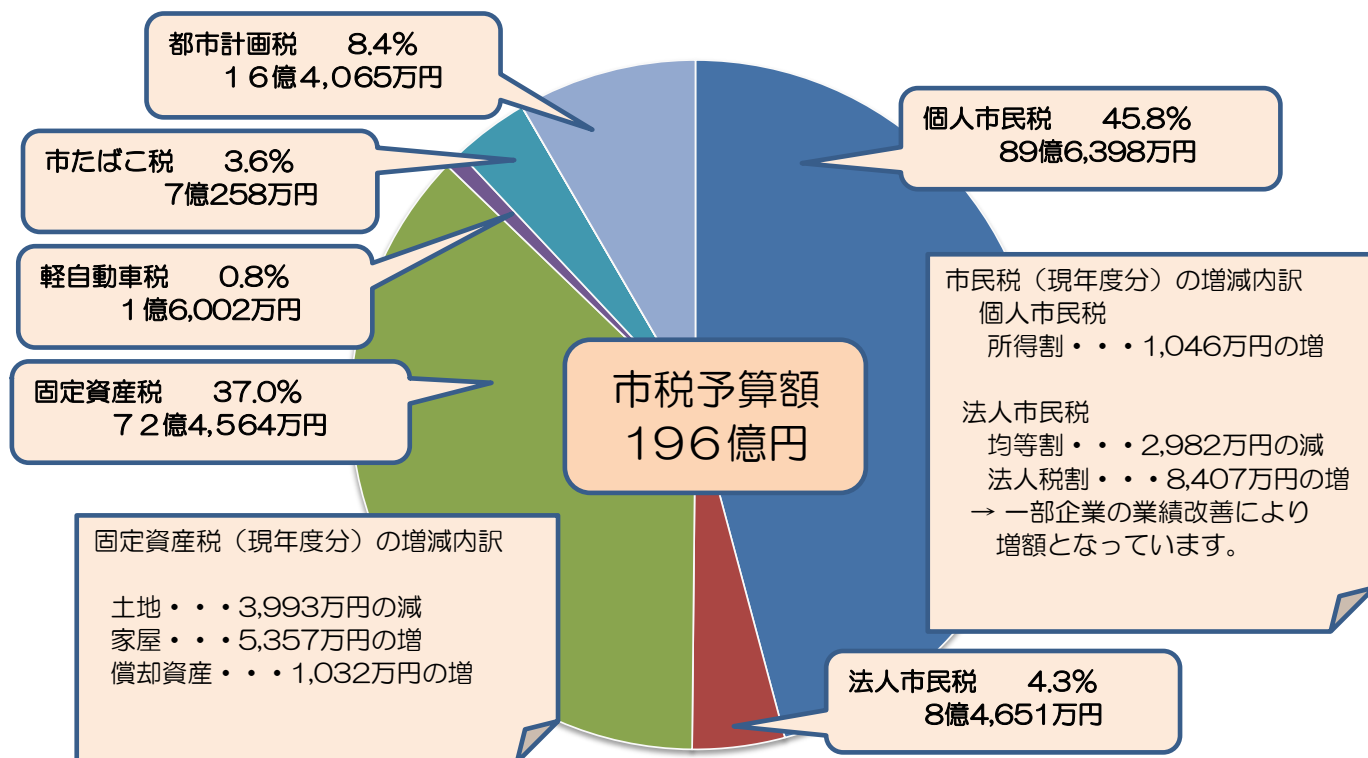


歳出の目的別予算額と構成比は上のグラフのとおりとなっており、投資的事業に係る経費が減額となった影響で、土木費、消防費及び教育費が大きく減額となっています。一方で、民生費における特別会計への繰出金を含めた医療・介護などに係る経費（約62億円）、障がい者支援（約29億円）、生活保護に係る経費（約37億円）、児童手当の支給（約25億円）、保育所運営などに係る経費（約36億円）、衛生費におけるごみ処理に係る経費（約31億円）、公債費（約56億円）など、経常的に必要となる経費は大きなウェイトを占めています。

歳出予算の主な増減項目

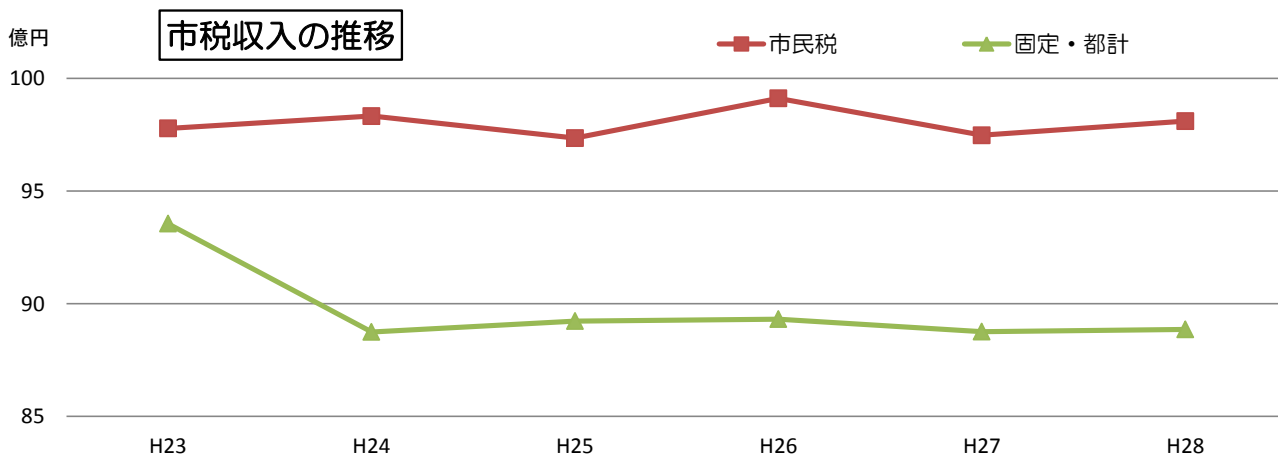
総務費	増	ふるさとづくり基金積立（+1.2億円）、キセラ川西内複合施設整備（+10.6億円）、市民体育館整備（+9.2億円）
	減	用地先行取得事業特別会計への繰出金（△4.3億円）、国勢調査（△0.6億円）
民生費	増	生活保護扶助費（+2.8億円）、障害福祉サービス給付費（+2.1億円）、後期高齢者医療負担（+0.9億円）、老人福祉施設整備補助（+1.6億円）、認定こども園整備（+2.2億円）、認定こども園運営支援（+2.8億円）
	減	子育て世帯臨時特例給付金（△0.6億円）
衛生費	増	市立川西病院への補助金・長期貸付金（+6.3億円）
土木費	減	道路安全灯LED化（△4.7億円）、矢間畦野線整備（△2.2億円）、中央北地区土地区画整理事業特別会計への繰出金（△1.9億円）、川西市都市整備公社への補助金（△3.6億円）、花屋敷団地建替え（△6.7億円）、中央公園整備負担金（△1.8億円）
消防費	減	消防本部・防災施設整備（△20.3億円）
教育費	増	加茂遺跡保存（+5.4億円）
	減	教育施設耐震化（△16.5億円）、公民館耐震化（△1.8億円）
公債費	増	元金償還（+3.8億円）

5.市税収入の状況

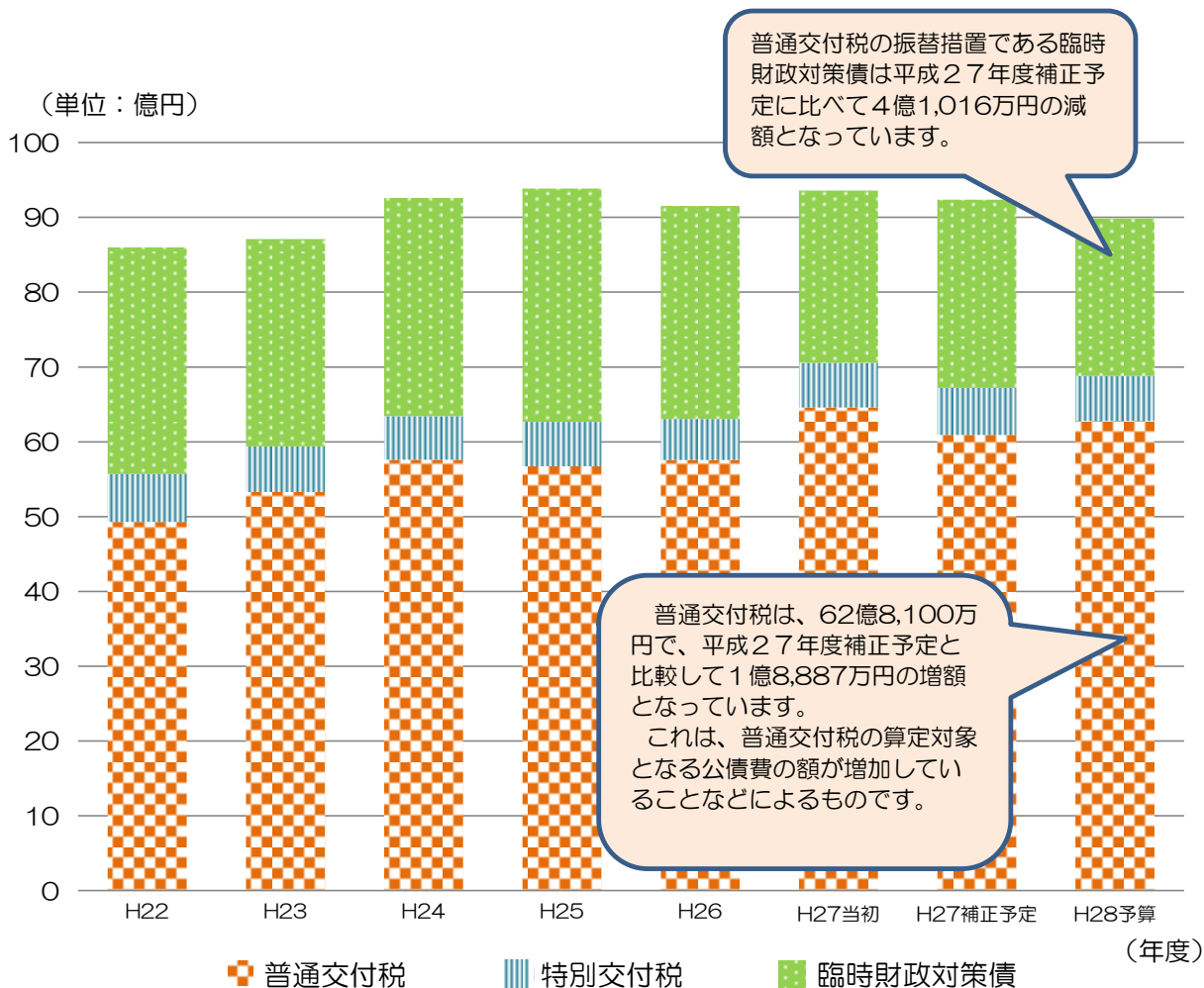


(単位：千円、%)

税目	年度	H28当初予算 (A)	H27当初予算 (B)	増減額 (A)-(B)	増減率
市民税		9,810,486	9,747,856	62,630	0.6
	個人市民税	8,963,977	8,955,942	8,035	0.1
	法人市民税	846,509	791,914	54,595	6.9
固定資産税		7,245,638	7,235,778	9,860	0.1
軽自動車税		160,016	142,849	17,167	12.0
市たばこ税		702,583	670,724	31,859	4.7
入湯税		738	791	△ 53	△ 6.7
都市計画税		1,640,647	1,640,940	△ 293	0.0
合計		19,560,108	19,438,938	121,170	0.6



6.地方交付税の状況



(単位：千円)

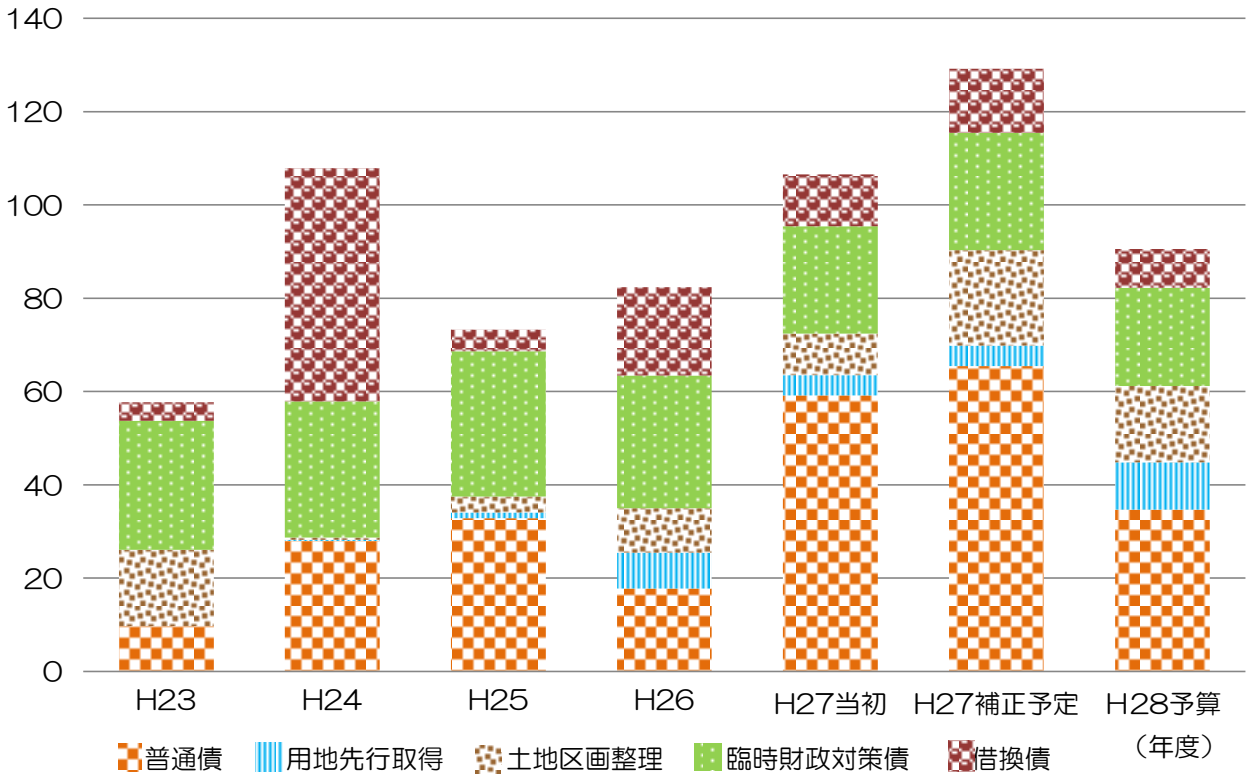
	H22	H23	H24	H25	H26	H27当初	H27補正予定	H28予算
普通交付税	4,930,082	5,328,491	5,762,346	5,674,584	5,757,080	6,458,000	6,092,132	6,281,000
特別交付税	640,582	612,741	580,648	593,102	550,266	600,000	631,000	600,000
臨時財政対策債	3,030,254	2,768,514	2,918,829	3,116,800	2,846,533	2,302,000	2,514,155	2,104,000
合計	8,600,918	8,709,746	9,261,823	9,384,486	9,153,879	9,360,000	9,237,287	8,985,000

備考：H22からH26は決算数値で、H27補正予定は3月補正予算（予定）後の数値である

解説：臨時財政対策債（市債）は、地方財政の収支不足を補てんするために、普通交付税にかわって各自治体が資金調達するもので、本市の場合、この制度が設けられたH13から借り入れている。（後年度の元利償還金について100%が普通交付税の算定対象となる。）

7.地方債（市債）の借り入れ状況

（単位：億円）



一般会計、用地先行取得事業特別会計及び中央北地区土地区画整理事業特別会計を合わせた市債借入額は、借換債を除くと、平成27年度補正予定に比べて33億2,106万円の減となっています。これは、一般会計において、学校耐震化や市営住宅建替えに係る市債発行額が減額となっていることが主な要因です。

（単位：千円）

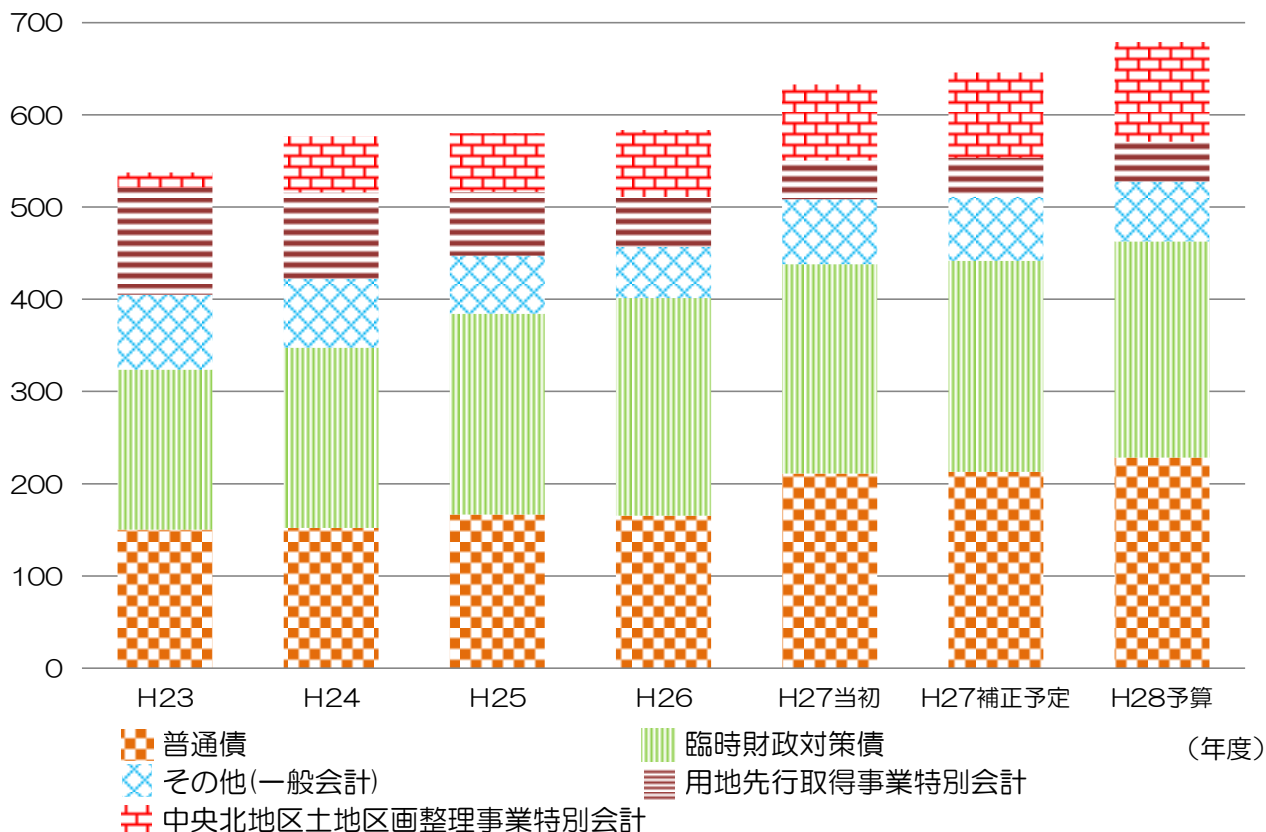
		H23	H24	H25	H26	H27当初	H27補正予定	H28予算
一般会計	普通債	975,200	2,797,100	3,288,200	1,780,700	5,919,900	6,551,200	3,473,900
	臨時財政対策債	2,768,514	2,918,829	3,116,800	2,846,533	2,302,000	2,514,155	2,104,000
	借換債①	394,100	608,432	463,144	1,893,000	1,108,300	1,108,300	830,540
	小計	4,137,814	6,324,361	6,868,144	6,520,233	9,330,200	10,173,655	6,408,440
特別会計	用地先行取得事業		25,600	123,800	771,800	436,000	436,000	1,014,000
	〃（借換債）②					269,700	269,700	
	中央北地区土地区画整理事業	33,800	50,100	337,500	948,100	891,400	2,046,100	1,634,500
	〃（借換債）③	1,600,000	4,395,900					
	小計	1,633,800	4,471,600	461,300	1,719,900	1,597,100	2,751,800	2,648,500
合計		5,771,614	10,795,961	7,329,444	8,240,133	10,927,300	12,925,455	9,056,940
（実質的な借換債①②③を除く）		(3,777,514)	(5,791,629)	(6,866,300)	(6,347,133)	(9,549,300)	(11,547,455)	(8,226,400)

備考：H23からH26までは決算数値、H27補正予定は3月補正予算（予定）後の数値である。

解説：地方債（市債）は、地方財政法により投資的事業の財源として発行するものである。
 なお、例外として、H6以降、減税対策や地方交付税の不足を補うために、一般財源として活用できる減税補てん債、臨時財政対策債の発行が認められている。

8.地方債（市債）現在高の状況

（単位：億円）



地方債現在高は、平成27年度補正予定に比べて32億8,807万円の増となっています。
 一般会計では、普通債で15億6,497万円の増、臨時財政対策債で5億4,357万円の増となっています。
 また、用地先行取得事業特別会計では、1億4,228万円の増、中央北地区土地区画整理事業特別会計では、15億3,268万円の増となっています。

なお、平成28年度の地方債現在高は、市民1人あたり約42万円となります。

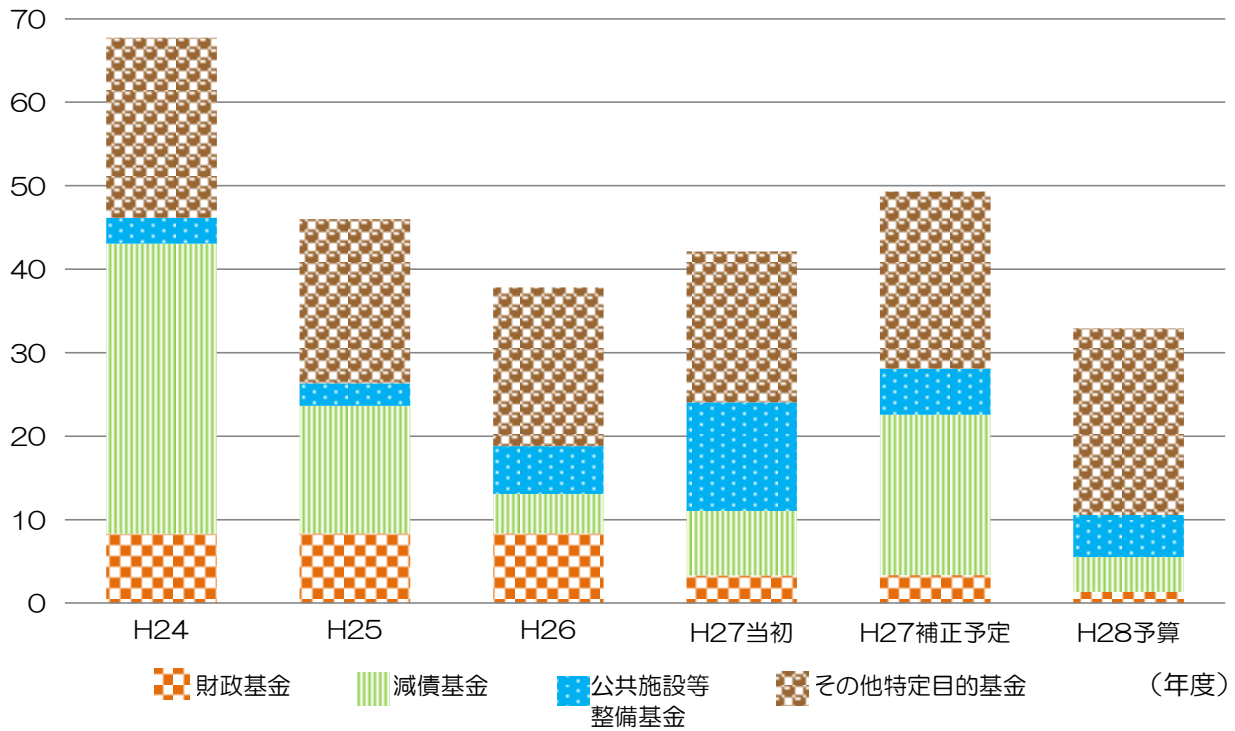
（単位：千円）

		H23	H24	H25	H26	H27当初	H27補正予定	H28予算
一般会計	普通債	15,015,218	15,214,969	16,651,083	16,543,939	21,122,800	21,284,810	22,849,778
	臨時財政対策債	17,374,063	19,544,095	21,783,875	23,584,463	22,680,269	22,887,160	23,430,731
	その他	8,087,051	7,480,896	6,292,457	5,562,005	7,039,957	6,969,824	6,474,388
	小計	40,476,332	42,239,960	44,727,415	45,690,407	50,843,026	51,141,794	52,754,897
特別会計	用地先行取得事業特別会計	11,653,844	9,367,156	6,942,098	5,402,692	4,205,530	4,205,530	4,347,814
	中央北地区土地区画整理事業特別会計	1,633,800	6,063,800	6,358,070	7,262,940	8,251,701	9,255,601	10,788,280
	小計	13,287,644	15,430,956	13,300,168	12,665,632	12,457,231	13,461,131	15,136,094
合計	53,763,976	57,670,916	58,027,583	58,356,039	63,300,257	64,602,925	67,890,991	

備考： H23からH26までは各年度の決算額。H27補正予定は3月補正予算（予定）後、H28はH27補正予定にH28予算の数値を反映させたものである。

9.基金（貯金）の状況

(単位：億円)



平成28年度では、一般会計と特別会計を合わせて、財政基金から2億円、減債基金から15億885万円、公共施設等整備基金から4,500万円、其他特定目的基金から2,771万円を繰り入れています。積立では、主にふるさとづくり寄附金を基金に積み立てています。

(単位：千円)

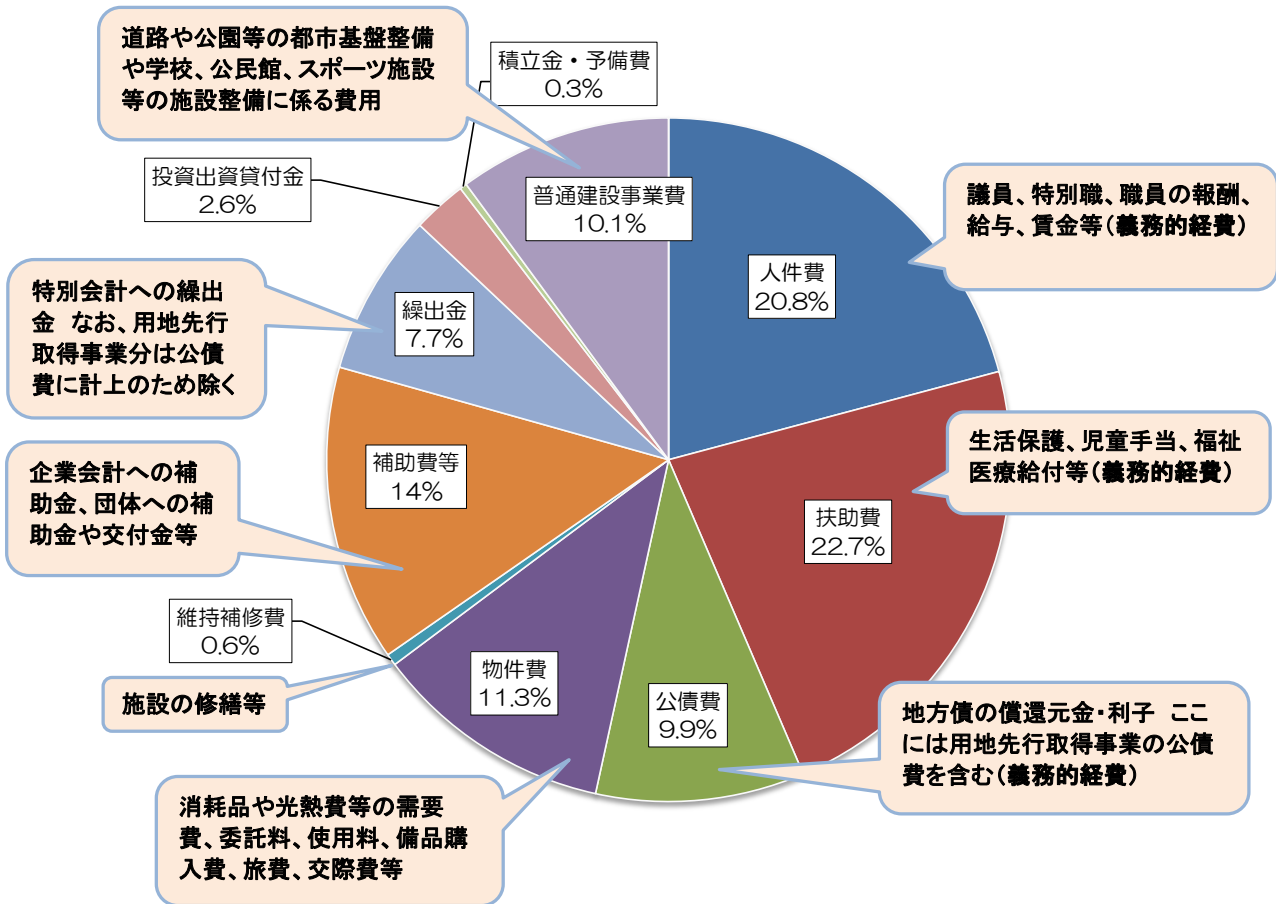
	H24	H25	H26	H27当初	H27補正予定 ①	H28積立 ②	H28繰入 ③	H28予算 ①+②-③
財政基金	834,271	835,743	835,954	331,164	336,155	160	200,000	136,315
減債基金	3,472,518	1,528,120	472,805	773,969	1,920,885	3,191	1,508,854	415,222
公共施設等整備基金	311,244	271,347	571,547	1,300,513	551,409	36	45,000	506,445
其他特定目的基金 (一般会計)	1,085,300	1,091,840	1,107,717	1,057,990	1,185,617	120,000	27,600	1,278,017
小計	5,703,333	3,727,050	2,988,023	3,463,636	3,994,066	123,387	1,781,454	2,335,999
其他特定目的基金 (特別会計等)	1,070,428	874,389	794,511	751,442	938,380	19,595	114	957,861
各年度末 現在高合計	6,773,761	4,601,439	3,782,534	4,215,078	4,932,446	142,982	1,781,568	3,293,860

備考1： H24からH26までは、各年度末の確定数値。H27補正予定は3月補正予算（予定）後を、H28予算はH27補正予算にH28予算における積立及び繰入の数値を反映させたものである。

備考2： 其他特定目的基金（一般会計）・・・社会福祉、地域福祉、文化振興、緑化、ごみ減量化・再資源化対策、奨学、ふるさとづくりの各基金を計上している。

備考3： 其他特定目的基金（特別会計等）・・・介護保険給付費準備、農業共済事業、母子及び父子福祉応急資金貸付の各基金を計上している。

10. 一般会計歳出性質別経費の状況



性質別分類では、義務的経費が増額となっています。これは、人件費、扶助費、公債費がすべて増額になっているものです。

義務的経費以外では、教育施設耐震化、市営住宅建替え、消防本部・防災施設整備などにかかる経費の減少により、普通建設事業が大幅に減額となるため、全体として減額となっています。

(単位：千円、%)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27当初	H28予算
義務的経費	人件費	10,487,715	10,320,172	9,955,780	9,649,258	9,470,467	10,610,470
	扶助費	9,032,127	9,975,604	10,205,901	10,506,418	10,981,663	11,226,490
	公債費	5,468,594	6,851,336	7,218,454	7,185,452	6,547,015	4,981,862
	小計	24,988,436	27,147,112	27,380,135	27,341,128	26,999,145	26,818,822
その他の経費	物件費	5,457,360	5,579,610	5,393,692	5,457,868	5,763,790	5,684,507
	維持補修費	467,369	404,301	372,016	374,486	371,980	307,695
	補助費等	5,952,840	5,911,639	6,005,675	6,218,676	5,679,386	7,493,235
	繰出金	3,914,542	4,219,684	4,649,199	4,905,643	5,186,204	4,143,688
	投資出資貸付金	784,240	2,111,380	1,354,570	2,073,720	1,210,668	823,625
	積立金・予備費	1,067,484	456,636	3,777,409	353,748	227,179	838,609
	普通建設事業費	3,330,785	2,856,620	4,378,961	5,519,934	5,094,730	7,892,517
	災害復旧費	9,722	3,794	7,832	24,462	102,293	2
歳出合計	45,972,778	48,690,776	53,319,489	52,269,665	50,635,375	54,002,700	
歳出合計のうち義務的経費の占める割合	54.4	55.8	51.4	52.3	53.3	49.7	

備考1： H22からH26は、各年度地方財政状況調査の普通会計決算数値、H27、28は一般会計当初予算額。

備考2： 公債費から借換債は除いている。(H22：264,000千円、H23：394,040千円、H24：608,432千円、H25：463,144千円、H26：1,893,000千円、H27：1,108,300千円、H28：830,540千円)

11. 平成28年度 行財政改革の取組項目と効果見込額

行財政改革前期実行計画（平成25～29年度）の状況を平成28年度当初予算段階でとりまとめたものです。計画期間中に取り組む予定の項目のうち、平成28年度に新たに着手する項目と効果見込額を計上するとともに、平成25年度から取り組んでいる項目について、継続して発生する効果見込額を計上しています。

また、行財政改革の実行に伴う必要経費については、その経費を調整したうえで計上しています。

革新し続ける行政経営の推進 効果見込額 126,383千円

☆ICT技術の活用	77,742千円
ICT技術の活用による機器の集約化	77,742千円
☆環境への配慮	48,641千円
<<新規>>安全灯のLED化	51,800千円
<<新規>>公園灯のLED化	△2,965千円
エコアクション21等認証・登録支援の実施	△194千円

持続可能な財政基盤の確立 効果見込額 61,799千円

☆効率的で効果的な行政サービスの提供	39,609千円
<<新規>>保健センターにおける各種検診受付業務のOAシステム導入による効率化	6,839千円
<<新規>>教育用ICT機器の継続使用	3,451千円
<<新規>>電力自由化に伴う入札の実施	13,830千円
給与体系の段階的な整理など	15,489千円
☆歳入の確保	13,536千円
<<新規>>税のクレジット収納の実施	6,586千円
自動証明写真機の設置など	6,950千円
☆外郭団体等の適正化	4,899千円
外郭団体への派遣職員の見直し	4,899千円
☆公有財産等の長寿命化と有効活用	3,755千円
栄保育所跡地の（一部）貸付	3,755千円

機動的な組織体制の構築と人材の育成 効果見込額 8,941千円

☆定員管理等の適正化と機動的な組織編成	8,941千円
<<新規>>室内グループ制の試行導入	
直営地域包括支援センターのあり方の見直し	8,941千円

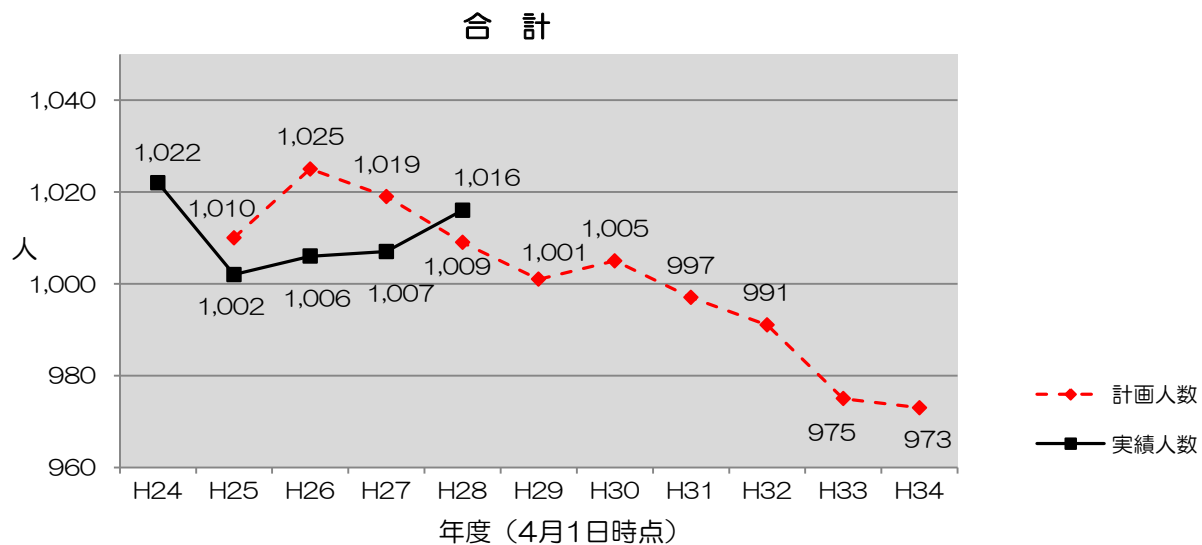
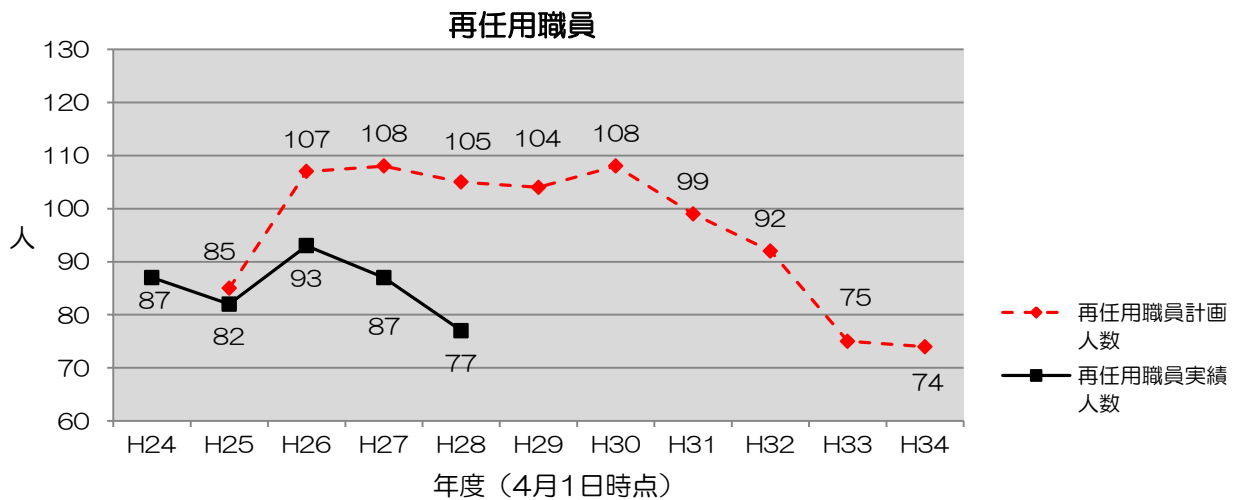
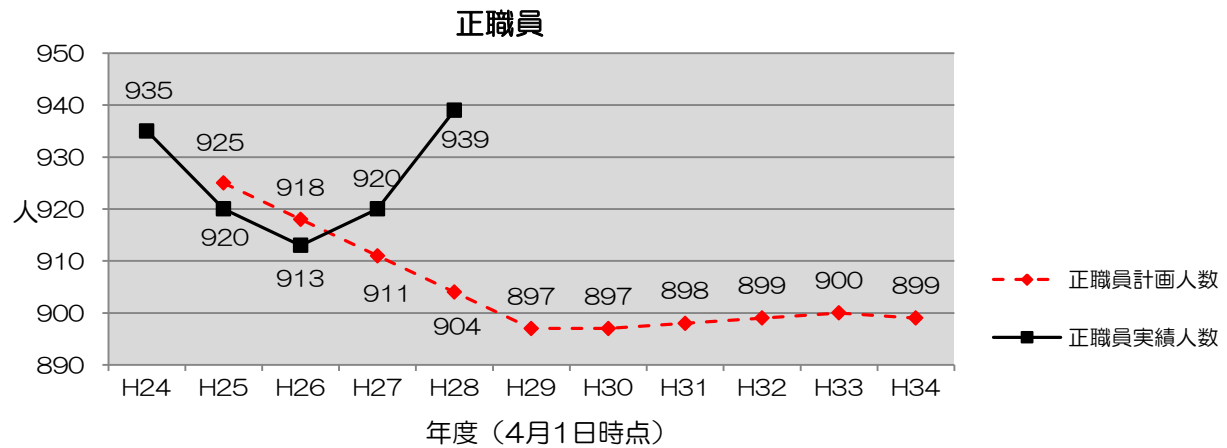
合計	197,123千円
うち平成28年度新規取組分の合計	79,541千円

職員定数管理計画の進捗状況

職員定数については、適正化を図る必要があるため、平成25年度から平成34年度までの職員定数管理計画を策定し、行財政改革を推進する重要項目としています。

なお、職員定数管理計画に基づく計画人数と実績人数（上下水道事業及び病院事業を除く。平成28年度は予算定数）は下グラフのとおりです。

平成28年度は、正職員計画人数904人に対し予算定数は939人、再任用職員計画人数105人に対し77人となり、合計では、計画人数1,009人に対し1,016人となります。



12.特別会計・企業会計

(単位：千円、%)

会 計	平成28年度 当初予算額(A)	平成27年度 当初予算額(B)	差引(A)-(B)	増減率	
特別会計	国民健康保険事業	20,175,041	19,863,768	311,273	1.6
	後期高齢者医療事業	2,684,080	2,537,744	146,336	5.8
	農業共済事業	10,852	11,789	△ 937	△ 7.9
	介護保険事業	11,821,568	11,692,187	129,381	1.1
	用地先行取得事業	1,940,988	4,385,031	△ 2,444,043	△ 55.7
	中央北地区土地区画整理事業	2,810,929	3,983,032	△ 1,172,103	△ 29.4
	合 計	39,443,458	42,473,551	△ 3,030,093	△ 7.1
企業会計	水道事業	4,840,537	4,631,516	209,021	4.5
	下水道事業	6,169,970	6,180,585	△ 10,615	△ 0.2
	病院事業	7,157,678	6,841,202	316,476	4.6
	合 計	18,168,185	17,653,303	514,882	2.9

特別会計の概要

(単位：千円、%)

会 計	当初予算額		増減額(A)-(B)	増減率
	28年度(A)	27年度(B)		
国民健康保険事業	20,175,041	19,863,768	311,273	1.6
<ul style="list-style-type: none"> ・国の制度改正により、保険税低所得者軽減制度の拡充、賦課限度額の引き上げ、入院時食費負担額の引き上げを行います。 ・保険税収入は、総額で3,771,505千円となり、H27と比べて2.8%減少します。 ・支出では、保険給付費が12,020,517千円となり、H27と比べて0.6%減少します。 ・被保険者数（年平均）は38,816人で、H27と比べて3.3%減少します。 ・1人当たり保険給付費は310千円となり、H27と比べて3.0%増加します。 				
後期高齢者医療事業	2,684,080	2,537,744	146,336	5.8
<ul style="list-style-type: none"> ・保険料率の改定により、所得割で4.85%の増、均等割で1.46%の増となります。 ・保険料収入は、総額で2,261,061千円となり、H27と比べて5.6%増加します。 ・国の制度改正により、保険料低所得者軽減制度の拡充を行います。 				
農業共済事業	10,852	11,789	△ 937	△ 7.9
<ul style="list-style-type: none"> ・一般管理費が9,342千円となり、H27と比べて12.5%減少します。 				
介護保険事業	11,821,568	11,692,187	129,381	1.1
<ul style="list-style-type: none"> ・保険料収入は、総額で2,655,269千円となり、H27と比べて0.6%増加します。 ・支出では、保険給付費が11,269,851千円となり、H27と比べて1.0%増加します。 ・第1号被保険者数は48,061人で、要介護認定者数は8,729人、要介護認定率は18.2%です。 				
用地先行取得事業	1,940,988	4,385,031	△ 2,444,043	△ 55.7
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路豊川橋山手線、市道12号などの道路用地のほか、キセウ川西内の都市整備公社用地、郷土館東側用地の取得及び補償を行います。 				
中央北地区土地区画整理事業	2,810,929	3,983,032	△ 1,172,103	△ 29.4
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地区内の道路整備・整地工事・補償を行うとともに、中央公園の整備を進めます。 ・主な支出は、道路整備・整地等1,783,090千円、補償等393,303千円、中央公園整備302,691千円を計上しています。 				

公営企業会計

企業会計は、主としてその経費を事業経営に伴う収入をもってまかなうもので、地方公営企業法の全部または一部の適用を受ける公営の企業をいいます。本市の場合、水道、下水道事業及び病院事業が適用となっています。

水道事業

川西市水道ビジョンの基本理念「安全な水道水を安定して送りつづけるために」を目標に、基幹施設・基幹管路の更新、応急給水拠点の強化などの事業を実施します。

収益的収入及び支出

水道水を送り届けるための経費とその財源(水道料金など)をいいます。

収益的収入	38億3,023万円
(昨年度)	37億 544万円
収益的支出	34億8,580万円
(昨年度)	35億5,376万円
差引	3億4,443万円
(昨年度)	1億5,168万円

差引は昨年度比で1億9,275万円の増額となっています。



水道きんたくん

資本的収入及び支出

施設を建設・整備するための経費とその財源をいいます。

資本的収入	5億1,522万円
(昨年度)	2億3,932万円
資本的支出	13億5,474万円
(昨年度)	10億7,776万円
差引	△8億3,952万円
(昨年度)	△8億3,844万円

不足額は損益勘定留保資金などで補てんします。

水道施設の耐震化・改修などを実施

配水池

耐震化工事 緑台高区2号配水池
 改良工事 一庫高区・坂の上配水池
 調査委託 けやき坂他配水池
 設計委託 萩原台2号配水池
 2億2,356万円



緑台高区2号配水池

配水管

耐震化工事 滝山町地内
 改良工事 清和台西、水明台地内など
 布設工事 キセラ川西、川西インター線など
 5億4,497万円



老朽化した配水管の改良工事

固定資産購入

矢問調整池購入
 自動車2台
 ICP質量分析計など

3億1,242万円

その他

流量計更新工事
 テレメーター装置更新工事など

5,956万円

下水道事業

川西市下水道ビジョンの基本理念「安全で快適な暮らしを支えるために」を目標に、雨水による浸水被害の軽減に向け雨水管きょ整備と、生活環境改善に向け汚水管きょ整備などを実施します。

収益的収入及び支出

汚れた水を適切に処理するための経費とその財源(下水道料金など)をいいます。

収益的収入	38億7,441万円
(昨年度)	38億3,591万円)
収益的支出	33億1,910万円
(昨年度)	32億6,985万円)
差引	5億5,531万円
(昨年度)	5億6,606万円)

差引は昨年度比で1,075万円の減額となっています。

資本的収入及び支出

施設を建設・整備するための経費とその財源をいいます。

資本的収入	18億 473万円
(昨年度)	18億1,926万円)
資本的支出	28億5,087万円
(昨年度)	29億1,073万円)
差引	△10億4,614万円
(昨年度)	△10億9,147万円)

不足額は損益勘定留保資金及び利益剰余金処分額などで補てんします。



下水道さんたくん

下水道施設の長寿命化・改修などを実施

雨水

雨水管きょ築造工事
キセラ川西、東多田3号など
3億1,517万円

長寿命化工事(エンジン、人孔蓋)
前川、加茂雨水ポンプ場
多田グリーンハイツ地内
4億8,390万円



雨水ポンプ場 長寿命化工事

長寿命化計画などの委託
2,392万円

汚水

汚水管きょ築造工事
キセラ川西、石道など
2,060万円

長寿命化工事(管きょ更生、人孔蓋)
大和、清和台、
多田グリーンハイツ地内
1億7,800万円

長寿命化計画などの委託
3,000万円

猪名川流域下水道建設事業費負担金
1億1,281万円



市内の汚水処理を行う
猪名川流域下水道原田処理場

病院事業

新たに策定する市立川西病院経営健全化計画を着実に推進し、国による診療報酬の改定などにも的確に対応しながら、病院経営の健全化に努めます。

また、病院運営の効率化や患者サービスの向上を図るため、オーダーリングシステムの更新に合わせ、電子カルテ及び部門システムを導入します。

収益的収入及び支出

病院を運営するための経費とその財源（入院や外来の収益など）です。

収益的収入	57億8,739万円
(昨年度)	57億355万円
収益的支出	59億7,081万円
(昨年度)	59億3,504万円
差引	△1億8,342万円
(昨年度)	△2億3,149万円

差引は昨年度比で4,807万円の純損失の減となっています。



資本的収入及び支出

医療機器や施設を整備するための経費とその財源です。

資本的収入	11億4,231万円
(昨年度)	8億238万円
資本的支出	11億8,687万円
(昨年度)	9億616万円
差引	△4,456万円
(昨年度)	△1億378万円

不足額は一時借入金で措置します。

主な取り組み

経営健全化計画に基づく収支改善

【患者確保策の充実と費用の確認・評価による収支改善】

地域医療連携室の土曜日開設など、新たな患者確保策の展開により医業収益の増収を図るとともに、医業費用の執行においても事後の確認・評価を行うことで費用の抑制に努め、収支の改善を図ります。

電子カルテ及び部門システムの導入と医療機器の計画的更新

【医療機器等の整備による安全で安心な医療の提供
と効率的な医療環境の整備】
5億6,500万円

企業債を財源とし、現行のオーダーリングシステムの更新に合わせ、電子カルテ及び部門システムを導入します。
また、更新の必要な医療機器の計画的な整備を図ります。



平成28（2016）年度 当初予算の概要

平成28（2016）年2月発行

発行 川 西 市
編集 総合政策部行政経営室
総合政策部財政室

〒666-8501

兵庫県川西市中央町12番1号

072-740-1120（行政経営室）

072-740-1130（財政室）

この冊子は市役所内で印刷しています。